

9月議会はじまります (開始時間はいずれも午前10時)

日	会議	場所	備考
9月 5日 (火)	本会議	議場	提案説明・総括質疑
9月 6日 (水)	本会議	議場	総括質疑
9月 7日 (木)	建設企業委員会	第一委員会室	付託案件の審査
9月 8日 (金)	建設企業委員会	第一委員会室	付託案件の審査
9月11日 (月)	文教経済委員会	第一委員会室	付託案件の審査
9月12日 (火)	文教経済委員会	第一委員会室	付託案件の審査
9月13日 (水)	厚生委員会	第一委員会室	付託案件の審査
9月14日 (木)	厚生委員会	第一委員会室	付託案件の審査
9月15日 (金)	総務委員会	第一委員会室	付託案件の審査 (橋爪担当)
9月19日 (火)	総務委員会	第一委員会室	付託案件の審査 (橋爪担当)
9月21日 (木)	一般質問	議場	
9月22日 (金)	一般質問	議場	
9月25日 (月)	一般質問	議場	
9月26日 (火)	一般質問	議場	
9月28日 (木)	本会議	議場	議案採決



写真は報告する森ゆうこ参院議員

「政治とは戦争をしない」とでなければならぬ」と森ゆうこ参院議員 上越市で初開催の森ゆうこ国会報告会、市民と野党が一体で取り組む

森ゆうこ参院議員(自由党)の国会報告会が8月25日、リージョンプラザでありました。集まったのは350人くらいの市民です。この会はいままで味わったことのない感動的なものとなりました。まず、報告会の運営に携わっているスタッフは新社会党を含めすべての野党と市民団体のメン

に触れながら、「安倍一強と言われているが、安倍内閣の政治は究極のえこひいき政治、独裁政治だ。官僚は本当のことを言えない。ものすごく気の毒だ。こんなひどいことをする国会初めて見た。森友・加計問題はみなさんの税金の無駄遣いの象徴だ」とのべ、今後とも追及していく決意を語りました。



【キンミズヒキ】バラ科の多年草。漢字で「金水引」を書きます。8月から10月にかけて黄色の小さな花を咲かせます。鎮痛、下痢止めなどとして使われています。癌にも効くとか。これも8月14日、尾神岳にて撮影。

続いて、これまでの安倍内閣の悪政の数々を紹介しつつ、平和と野党共闘について言及しました。同議員は、「政治の最大の失敗は戦争で国民にトタンの苦しみを与えることだ。政治とは戦争をしないことではなければならない。先日、若いお母さんや子どもたちと会い、話をしてきたが、このまま

で子どもたちの未来を守れるのだろうかと思つた。いまこそ野党が結束して究極のえこひいき政権を倒し、国民の99%の側に立つ政権を本気でつくっていかなければならない

新体操アリーナ問題で意見次々

日本共産党議員団は24日、「市民のみなさんの意見をお聴きする会」を開催しました。

今回は大潟区に建設が予定されている(仮称)上越市体操アリーナの用地取得及び造成工事予算が9月議会に提出されることから、その問題について上野議員が報告し、その後、参加者の意見をお聴きました。

参加者からは、「大きな大会もできる施設にというが、150台くらいの駐車場ではどうかと思ふ」「市民のための平等性といつたときにあまりにも体操にお金をかけすぎではないか」「25億円かかるお金があるなら市民生活をこらうすることができるといふ提案をしてほしい。賛成の余地はない」などの意見が相次ぎました。

はしづめ法一の
活動レポート

No.1822 2017.9.3
 発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず
 Tel 025-548-3628
 通じないときは 090-5392-1961
 E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp
 URL <http://www.hose1.jp/>

ブログ
 「ホーセの見
 てある記」は
 ← こちら

橋爪法一 検索

春よ来い

第四七〇回

さぶくねがか

夜遅く、それも一〇時、一一時という時間に家に戻ってきたとき、私は居間のテーブルの脇で横になるクセがあります。たいがいはテレビを観たり、スマホを操作したりしているのですが。

ただ疲れていると、そこで一、二時間寝てしまうこともあります。先日の夜もそうでした。扇風機をまわしながら、横になっていたら、気持ち良くなつたのでしょね、ぐっすり眠ってしまいました。

眠りの継続を遮断したのは母のひと音でした。

「さぶくねがか」

一瞬、誰かと思いました。眼鏡をはずしていた私の目に入ったのは、白い肌を着た老婆。居間に置いてある大きな電動イスの脇に立っていたのです。声は明らかに母の声でした。

「うん、さぶくね」

たぶん、私はそう言ったのだろうと思います。母は、「さぶくねがか」のひと音以外に何も言わずに、自分の寝室に戻っていききました。時計は一二時半過ぎでした。

細い眼をした母ではありませんが、視力はまだいい方です。母が私に声をかけてきたのはトイレに行つて、その際、居間の灯りに気づき、横になっている私を見つけたからだと思います。

夜中に母が私に声をかけてきたのは今回が最初ではありません。これまで何回かあります。私の頭に残っている最初の記憶は、中学生時代のことでした。

部活で疲れたのか稲刈り仕事の手伝いで疲れたのかは忘れてしまいました。夜遅い時間、母が居間で寝てしまった私に笑いながら声をかけてきました。

「あにや、大事なもん、外に出てるぞ」
このときは、言われて、びくっとしまし

た。はいているパンツをまくり上げていたのか、パンツの脇から「大事なもん」がちよこつと顔を出していたのです。大慌てで「収納」しました。

比較的新しい記憶としては、数年前のこと、夜中にアイスクリームを冷蔵庫から持ってきて、「おまん、アイスクリームいらんか」と声をかけてくれました。

これは「春よ来い」にも書きました。こうやって書くと、母は夜遅くまで起きていて、私が寝ているケースが多いように思えるでしょうが、実際はその逆のことが少なくありませんでした。特に、秋の稲刈りの時期はそうでした。母はよく舟を漕いでいました。

私や弟たちが共通して記憶しているのは、「稲こき」などの夜なべ仕事をした後の母の姿です。小さな体で動き回っていた母は、仕事が終わると、よくインスタントラーメンをつくってくれました。父や祖父、私たちキョウダイにまず与え、自分も最後に食べるのですが、母はラーメンが入ったどんぶりを前にこっくり始めるのです。父に、「どんぶりに顔、つつこむなや」と何度言われたことか。もちろん、それは疲れからきていたのですが。

今年の夏、母は風呂から上がると自分のベッドのところに行つて、寝間着に着替えないで、裸んぼのまま横になってうつらうつらしていることが何度ありました。

夏とはいえ、風邪は大敵です。とくに母のように高齢の場合、風邪をひくと、命にかかわることもあります。私が夜遅く帰ってきて、母の寝室の灯りがついていてるときは、「さぶくねがか」と必ず声をかけてきました。どうやら、先日の私への母の呼びかけは、そのお返しだったのかも知れませんが、「とちやだつて、寝てるねか」と。

ほか、太鼓演奏グループ、鼓舞衆（こぶし）のみなさんによる演奏も行われ、盛り上がりました。

顕法寺城址の解説は今回も加藤大介さん（「まちづくり吉川」代表）でした。いつもわかりやすい話で好評です。今回は、顕法寺城の役割などについて語った後、幕末から明治にかけての城址の様子を紹介、そのなかで当時あったという9本の松の木について語りました。じつに興味深い話でした。

市内各地で狼煙上げ

謙信公祭初日の26日、春日山城跡をはじめ各地の山城跡にて狼煙上げが行われました。私は春日山城の番城であった顕法寺城の本丸跡での狼煙上げに行ってきました。

この日は天気もよく、米山さんから春日山まではっきり見えました。もちろん、春日山城址での狼煙も。会場では詩吟が披露された



上越地域各消防署における空間放射線量測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	8月23日(水)	8月30日(水)
上越南消防署	0.040	0.040
上越北消防署	0.047	0.050
新井消防署	0.053	0.050
顕北消防署	0.047	0.043
顕南消防署	0.063	0.060
東顕消防署	0.057	0.047
高士分遣所	0.043	0.050
名立分遣所	0.057	0.057

川谷最寄り運動会、今回も楽しく

恒例の川谷最寄り運動会が27日、行われました。地元住民のほか、法政米米クラブなどの応援グループも参加して、輪投げ、瓶釣り、小豆ひろいなどの競技を楽しみました。

この運動会の特徴は地域を挙げて取り組み、外からの応援者も大勢入っていること、競技のなかには瓶釣りなど懐かしいものが組み込まれていることです。

私は今回、輪投げで18点という

まずまずの成績を残したものの、瓶釣りで1分20秒もかかり、小豆ひろいは2分間で27個というあわれな成績に終わりました。

